令和6年度第2回　うべ未来モニターアンケート集計結果

1　アンケートのテーマ

『自転車通行空間の利用調査、路面標示の整備状況調査』

(1)　実施期間　7月16日（火）～7月28日（日）まで
(2)　担当部署　道路整備課

2　モニター数・アンケート回答者数

(1)　メール・郵送文書到達モニター数　　911 人
(2)　回答者数（回答率）　　280 人 (30.7 %)

3　回答者の属性

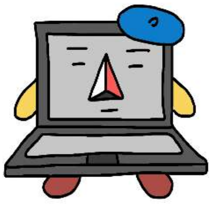
※　端数処理のため比率の合計が100%にならない場合があります。

【年代】

項目	回答者数	比率	グラフ
10歳代	1 人	0.4 %	
20歳代	3 人	1.1 %	
30歳代	15 人	5.4 %	
40歳代	34 人	12.1 %	
50歳代	52 人	18.6 %	
60歳代	63 人	22.5 %	
70歳代	93 人	33.2 %	
80歳代	19 人	6.8 %	

280 人

ご協力、ありがとうございました。



【居住校区】

項目	回答者数	比率	グラフ
東岐波	13 人	4.6 %	
西岐波	18 人	6.4 %	
恩田	32 人	11.4 %	
岬	15 人	5.4 %	
見初	3 人	1.1 %	
上宇部	22 人	7.9 %	
神原	9 人	3.2 %	
琴芝	17 人	6.1 %	
新川	14 人	5.0 %	
鵜の島	8 人	2.9 %	
藤山	16 人	5.7 %	
原	7 人	2.5 %	
厚東	2 人	0.7 %	
二俣瀬	4 人	1.4 %	
小野	4 人	1.4 %	
小羽山	8 人	2.9 %	
常盤	15 人	5.4 %	
川上	12 人	4.3 %	
厚南	10 人	3.6 %	
西宇部	21 人	7.5 %	
黒石	5 人	1.8 %	
船木	10 人	3.6 %	
万倉	6 人	2.1 %	
吉部	3 人	1.1 %	
在学・在勤	6 人	2.1 %	

N=280

【性別】

項目	回答者数	比率	グラフ
女性	123 人	43.9 %	
男性	157 人	56.1 %	

N=280

4　回答集計

※　比率は、各設問の回答対象数（N）に対する割合を示しています。
※　単数回答であっても、端数処理のため比率の合計が100%にならない場合があります。

『自転車通行空間の利用調査』

担当部署　道路整備課

アンケートの趣旨
本市では、令和２年９月に「自転車活用推進計画」を策定し、自転車通行空間の確保のため、市内の一部区間に矢羽根型路面標示やブルーラインを継続的に設置しています。 整備後３年が経過したことから、利用状況や認知度をお聞きすることで今後の事業計画の参考とするため、本アンケートへご協力をよろしくお願いします。

問１　自転車は原則、車道の左端を通行しなければならないことを知っていますか。但し、歩道に自転車通行可の標識（※）がある場合を除きます。

項目	回答者数	比率	グラフ
1　知っている	271 人	96.8 %	
2　知らない	9 人	3.2 %	

N=280

※１　自転車通行可の標識

問２　市内に設置された矢羽根型路面標示（※１）やブルーライン通行帯（※２）を自転車で通行したことがありますか。

項目	回答者数	比率	グラフ
1　通行したことがある　→問５へ	74 人	26.4 %	
2　通行したことがない	206 人	73.6 %	

N=280

※１　矢羽根型路面標示

※2　ブルーライン通行帯

問３　問２で「２　通行したことがない」と回答した方におたずねします。
身近に矢羽根型路面標示やブルーライン通行帯があれば、通行したいですか。

項目	回答者数	比率	グラフ
1　通行したい　→問５へ	104 人	50.5 %	
2　通行したくない	102 人	49.5 %	

N=206

問４　問３で「２　通行したくない」と回答した方におたずねします。
通行したくない理由はなんですか。あてはまるものをすべて選択してください。

項目	回答者数	比率	グラフ
1　危険だから	81 人	56.3 %	
2　面倒だから	3 人	2.1 %	
3　ドライバーのマナーが悪いから	28 人	19.4 %	
4　その他	32 人	22.2 %	

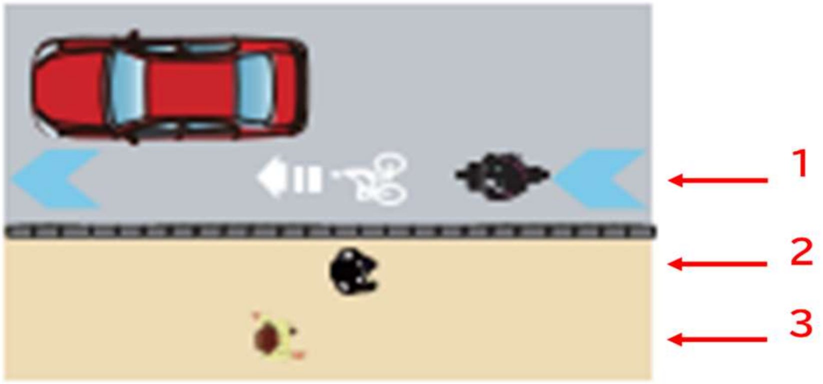
・自転車に乗っていない。
・高齢により走行に自信がない。
・場所によっては通行帯が狭く自転車同士ですれ違う際に危険を感じる。自動車走行レーンと分離されていないような感覚があり怖い。
・車道部を奪っているため、自動車の幅（中央線）との距離が合っていないので逆に危険。
・自転車に乗りませんが、乗るとしてもこのくらいの幅のブルーラインでは怖いと思います。
・左側を通る方がなんとなく安全そう。自転車の通るところなのか。
・道路幅に関わらず引かれてあるのが理解不能。引く基準を知りたい。
・歩行者との接触の危険、同時に一般車両との接触の危険が考えられる。
・自転車は所有しているが、近所への連絡等で両表示区間まで乗り込むことは無い。
・車道の端っこはゴミや道路の老朽化で危ない

N=144

問５　自転車で通行するとしたら、歩道がある場合は、どの部分を通行しますか。
あてはまるものをすべて選択してください。

項目	回答者数	比率	グラフ
1　車道の左端	173 人	47.1 %	
2　歩道の車道側	133 人	36.2 %	
3　歩道の左端	61 人	16.6 %	

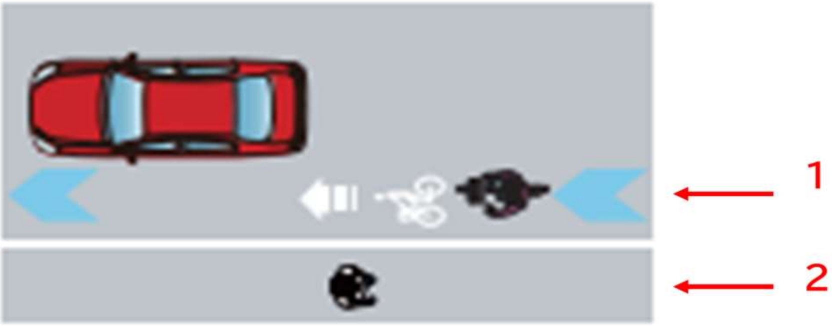
N=367



問６　自転車で通行するとしたら、歩道がない場合は、どの部分を通行しますか。あてはまるものをすべて選択してください。

項目	回答者数	比率	グラフ
1　車道の左端	195 人	61.7 %	
2　白線の内側	121 人	38.3 %	

N=316



問７　矢羽根型路面標示やブルーラインの設置後、安全になったと感じますか。

項目	回答者数	比率	グラフ
1　安全になった	45 人	16.1 %	
2　どちらともいえない	206 人	73.6 %	
3　危険になった	29 人	10.4 %	

N=280

問８　矢羽根型路面標示やブルーラインの整備が必要だと思いますか。

項目	回答者数	比率	グラフ
1　必要	101 人	36.1 %	
2　どちらかといえば必要	130 人	46.4 %	
3　どちらかといえば不要	33 人	11.8 %	
4　不要	16 人	5.7 %	

N=280

『路面標示の整備状況調査』

担当部署　道路整備課

アンケートの趣旨
本市では、市道の路面標示の薄れが市内の各所で散見され、路面標示の消失により安全性が低下している路線も数多く見受けられたことから、令和４年以降、集中的に整備を進めているところです。つきましては、今後の維持管理の参考とするため、本アンケートへご協力をよろしくお願いします。

問９　運転する時に、路面標示を意識していますか。

項目	回答者数	比率	グラフ
1　意識している	257 人	91.8 %	
2　あまり意識していない	16 人	5.7 %	
3　全く意識していない	1 人	0.4 %	
4　運転する機会がない	6 人	2.1 %	

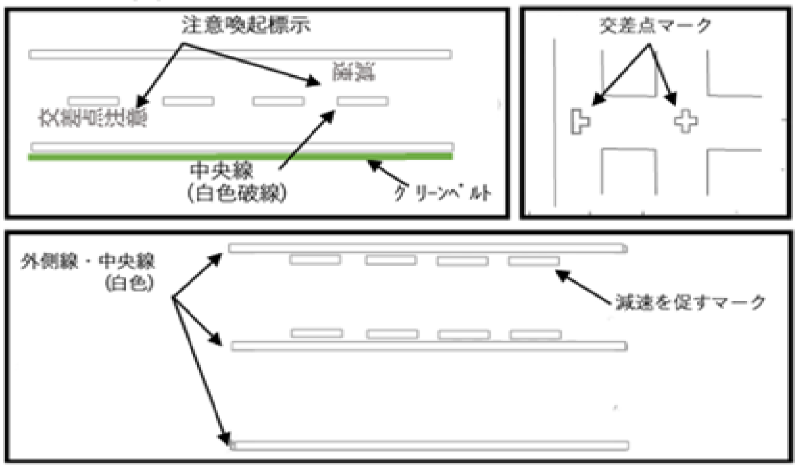
N=280

問１０　市道における外側線や中央線（白）、文字・矢印、グリーンベルトなどは、道路管理者である市が引き直しを行っていますが、中央線（黄色）や停止線、横断歩道、横断歩道の予告マークなどは、公安委員会（警察）が引き直しを行うことを知っていますか。

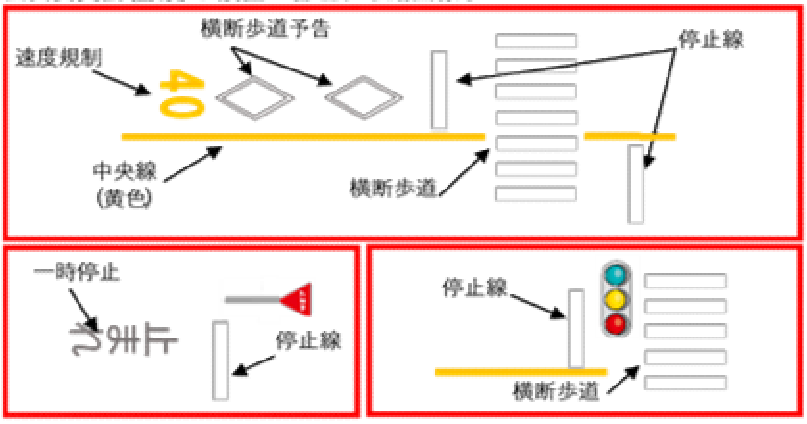
項目	回答者数	比率	グラフ
1　知っている	109 人	38.9 %	
2　知らない	171 人	61.1 %	

N=280

道路管理者(市)が設置・管理する路面標示



公安委員会(警察)が設置・管理する路面標示



問１１　市道における外側線や中央線（白）、文字・矢印、グリーンベルトなどについては、令和４年度及び令和５年度の２カ年において、例年の３倍の予算をもって路面標示の引き直し、整備を行いました。路面標示の引き直し、整備の効果を感じましたか。

項目	回答者数	比率	グラフ
1　とても感じた	40 人	14.3 %	
2　やや感じた	113 人	40.4 %	
3　あまり感じていない	109 人	38.9 %	
4　全く感じない	18 人	6.4 %	

N=280

問１２　市内の路面標示全体について、整備が充分だと感じていますか。

項目	回答者数	比率	グラフ
1　充分　→問14へ	9 人	3.2 %	
2　概ね足りている　→問14へ	93 人	33.2 %	
3　どちらでもない　→問14へ	82 人	29.3 %	
4　不充分	96 人	34.3 %	

N=280

問１３　問12で「４　不充分」と回答した方におたずねします。整備が不充分と感じている路面標示の種類はなんですか。あてはまるものをすべて選択してください。

項目	回答者数	比率	グラフ
1　停止線　※警察が設置するもの	70 人	21.3 %	
2　中央線（黄色）　※警察が設置するもの	39 人	11.9 %	
3　横断歩道　※警察が設置するもの	65 人	19.8 %	
4　外側線　※市が設置するもの	36 人	10.9 %	
5　中央線（白）　※市が設置するもの	41 人	12.5 %	
6　文字・矢印　※市が設置するもの	51 人	15.5 %	
7　グリーンベルト　※市が設置するもの	27 人	8.2 %	

N=329

問１４　グリーンベルトや文字（速度注意、交差点注意、飛び出し注意など）の路面標示は、効果があると思いますか。

項目	回答者数	比率	グラフ
1　とてもある	131 人	46.8 %	
2　ややある	130 人	46.4 %	
3　どちらでもない	8 人	2.9 %	
4　あまりない	6 人	2.1 %	
5　全くない	5 人	1.8 %	

N=280

問１５　路面標示が薄いために、近年の車に搭載されている「車線逸脱防止機能」が十分に機能しない（車線を認識しないため警報が鳴らない）と感じたことはありますか。

項目	回答者数	比率	グラフ
1　車線逸脱防止機能が付いていない	98 人	35.0 %	
2　ある	93 人	33.2 %	
3　ない	89 人	31.8 %	

N=280

問１６　路面標示が薄いために、事故に繋がるような危険を感じたことがありますか。

項目	回答者数	比率	グラフ
1　頻繁にある	22 人	7.9 %	
2　時々ある	138 人	49.3 %	
3　ない	90 人	32.1 %	
4　わからない	30 人	10.7 %	

N=280

担当部署による総括
「自転車通行空間の利用調査」 　自転車の通行位置において、車道の左側通行の認知度が９割以上、歩道がある場合に適切な位置を通行されている方が８割以上、歩道が無い場合の通行位置においても６割以上の方が交通ルールを遵守されており、交通ルールへの認識とマナーの高さが覗えました。 また、自転車通行空間（自転車レーン）の整備について、８割以上の方が望まれていることがわかりました。 　一方で「矢羽根型路面標示やブルーライン通行帯は通行したくない」と答えられた方が４割以上おられることから、安全性において課題が多いことも確認できました。 「路面標示の整備状況調査」 　運転の際には、路面標示を意識して運転している、路面標示には効果があると感じる方が９割以上、また、路面標示が薄いために危険を感じたことがある方が５割以上おられ、改めて路面標示の必要性が高いことがわかりました。 　一方で市内の路面標示全体について、３割以上の方が整備を不十分と感じておられることもわかりました。 　今回いただいたアンケート結果を参考にさせていただき、今後の自転車通行空間（自転車レーン）整備の検討と路面標示の適切な維持管理が出来るよう取り組んでまいります。 　ご協力ありがとうございました。